公 式 記 録

(一社)兵庫県サッカー協会
兵庫県高体連サッカー部

令和7年度兵庫県高等学校総合体育大会サッカー競技〈女子の部〉　決 勝 【 11 】

主審署名	吉永　真紀

日 時	2025 年 6 月 1 日（日） 11 ： 00 キックオフ			会 場	三木総合防災公園第１球技場		
天 候	晴れ	弱風	天然芝・人工芝・クレー	状 態	良好	試合形式	70 分 ／ 延長 20 分 ／ PK戦 有
運営責任者	笠原　弘樹	会場主任	吉田　陽一	記 録	岡本　夕季 ／ 澤田　さくら	観 衆	403 人
主 審	吉永　真紀	副審１	的崎　睦子	副審２	久米　宏樹	第４の審判員	大谷　美瑛

チーム名			チーム名
日ノ本学園高校 (kick off)	1	0	神戸弘陵学園高校
選手番号 ○× 先 (PK戦)			(PK戦) 選手番号 先 ○×

	O	前半	O
	1	後半	O
		延前	
		延後	
		PK戦	

交代 No.	交代 OUT時間	シュート 延後	シュート 延前	シュート 後半	シュート 前半	選手名	(学年)	番号	位置	位置	番号	選手名	(学年)	シュート 前半	シュート 後半	シュート 延前	シュート 延後	交代 OUT時間	交代 No.
	分					湯ノ口 愛佑菜	3年	1	GK	GK	1	西村 佐笑子	3年					分	
	分					大塚 理紗子	3年	3	DF	DF	2	平井　心	2年					分	
	分					稲垣　蓮	3年	2	DF	DF	5	下条　真嬉	3年					分	
	分			1＊		中里　美咲	3年	14	DF	DF	4	吉村　弥華	3年					分	
	HT 分					細田　若那	2年	8	DF	DF	3	滝谷 明花莉	3年					分	
	分					高橋 れある	3年	9	MF	MF	13	早瀬　由萌	2年					分	
	67 分					川合　千暁	2年	6	MF	MF	6	浦田　咲彩	3年					分	
	分				2	上田 妃茉里	3年	10	MF	MF	11	横井　睦	3年					分	
	分			1		高橋 あすか	3年	5	MF	MF	7	白井　梓	3年					HT 分	
	65 分				1	木下　奈南	3年	7	MF	FW	9	山田　愛実	3年					分	
	分			1		玉井　那奈	2年	11	FW	FW	10	鈴木　梨花	3年	1	1			分	
8	分			1		中内　咲那	3年	4	DF	GK	12	新美　楓華	1年					分	
	分					赤羽　桃萌	3年	16	DF	DF	26	山下　莉央	1年					分	
	分					今村　木虹	3年	19	DF	FW	8	古田　紗菜	2年		1			分	7
	分					河村　茅那	2年	12	MF	MF	14	前　香子野	2年					分	
6	分					林　華衣	3年	15	MF	MF	17	永井　陽莉	1年					分	
	分					色川　瑚夏	2年	17	MF	MF	18	藤井　希有	2年					分	
	分					太田　遥香	3年	18	MF	MF	21	押川　智花	1年					分	
	分					山口　真樹	2年	21	MF	MF	22	重成　明日花	1年					分	
7	分					坂東　麻耶	2年	13	FW	MF	19	森下　怜奈	1年					分	

時間	警・退	No.	氏名	事由	合計	延後	延前	後半	前半	チーム合計	前半	後半	延前	延後	合計	時間	警・退	No.	氏名	事由
分					7			4	3	シュート	1	2			3	分				
分					4			1	3	ＧＫ	7	3			10	分				
分					2			1	1	ＣＫ	3	0			3	分				
分					4			2	2	直接ＦＫ	1	2			3	分				
分					1			0	1	間接ＦＫ	0	0			0	分				
分					0			0	0	ＰＫ	0	0			0	分				

［警告事由］ 反ス・ラフ・異議・繰返・遅延・距離・無入・無去　　［退場事由］ 不正・乱暴・つば・阻(手)・阻(他)・侮辱・警2

得点経過	時間	チーム	No.	得点者	スコア	［得点経過］ 略号例：ドリブル～・ゴロのパス→・浮き球∩・混戦×・ヘディングH・シュートS
	62 分	日ノ本	14	中里　美咲	1 － 0	右　5　直接ＦＫ　×　中央　14　S
	分				－	
	分				－	
	分				－	
	分				－	
	分				－	
	分				－	
	分				－	
	分				－	
	分				－	
	分				－	

戦評者　所属 【 有馬 ／ 宝塚東 】　氏名 【 平家　義久 ／澤田　さくら 】

戦評

好天の中、県トレセンメンバーを擁し、互いをよく知るチーム同士の対戦となった。日ノ本１－４－２－３－１、神戸弘陵１－４－４－２の布陣でスタート。ともに開始早々からシンプルに前線の選手にボールを集め、アーリークロスからチャンスを作る展開となった。17分、日ノ本は右サイドから11玉井、18分には左サイドから７木下のクロスから10上田が飛び込むなど、相手ゴールを脅かした。一方の神戸弘陵もハーフウェーライン少し前からの直接ＦＫを10鈴木が惜しいシュートを放ったが、日ノ本１湯ノ口がセーブ。ともに持ち味の攻撃力を発揮したが、得点には至らない。25分過ぎから、細かいパスをつなぎ中盤でのポゼッションの上回った日ノ本が次第に主導権を握りながら前半が終了。後半に入り、日ノ本は準決勝で温存した４中内をディフェンスラインに投入し、安定を図った。神戸弘陵は後半早々、左サイド３滝谷がスピードを生かし、ドリブル突破からクロスを入れチャンスを作った。その後も１０鈴木からのスルーパスに抜け出した９山田がシュートに持ち込もうとするが、日ノ本ディフェンス人が体を張って阻止するなど、日ノ本の集中したディフェンスが終始、相手のストロングポイントを抑えた。そして62分、日ノ本はペナルティエリア外の絶好の位置で獲得したＦＫを５高橋が直接狙い、こぼれ球に反応した14中里が押し込み先制し、これが決勝点となった。中盤の連携と守備強度の高さで相手の攻撃を抑えた日ノ本学園と攻撃にタレントを擁する神戸弘陵との決勝に相応しい、見ごたえのある試合となった。